

ナイトミュージアム、幻想的 とうしん美濃陶芸美術館 庭園眺め呈茶会

とうしん美濃陶芸美術館
(多治見市虎溪山町)で、「ナイトミュージアム」が開かれ、来場者が昼間とは違った表情を見せる館内で美術品や茶を楽しんだ。東濃信用金庫の創業100周年記念事業として昨年始めた催しで、好評を博したため今年も実施した。閉館時間を午後7時30分まで延長し、美術館の内外をライトアップ。来場者は開催



夜の中庭を鑑賞できる呈茶会が開かれたナイトミュージアム＝多治見市虎溪山町、とうしん美濃陶芸美術館

中の美濃陶芸展や、ダンスと音楽のステージを楽しんだ。

中庭を鑑賞しながら楽しむ呈茶会には約80人が参加。照らし出されたダイオウマツの庭園を眺めながら、美濃陶芸協会会員が手掛けた茶わんで味わった。来場者は「いつもと違う世界が広がっていた。貴重な体験だった」と喜んだ。
(稲木悠司)